

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和3年9月28日(火) 18時30分～19時30分
開催場所	市庁舎10階 本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、デジタル統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、泉区長</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 市内の状況</p> <p>(1) 感染発生等の状況<健康福祉局> 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.3) 本日までの直近1週間の新規陽性患者数は492人であり、400人台は4月18日以来であり新規陽性患者数は大幅に減少している。 ・(P.5) 人口10万人あたりの累積新規陽性患者数は13人であり、4月末より少ない値である。 <p>(2) 医療提供体制の状況<医療局> 資料2に沿って説明【医療局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.10) 新規陽性者のうち60代以上の方が占める割合は、第3波ピーク時の1月18日で27.1%、8月16日で7.7%であり、高齢者の感染が減少している。 ・(P.11) 9月3日時点の重症用病床使用数は88床であり、重症用の最大確保病床数99床に迫る数値となったが、そこからは減少し、現在は足踏み状態である。 <p>(3) 市内経済の状況<経済局> 資料3に沿って説明【経済局長】</p> <p>(4) 市内観光の状況<文化観光局> 資料4に沿って説明【文化観光局長】</p> <p>2 ワクチン接種の状況<新型コロナウイルスワクチン接種推進本部> 資料5に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区のワクチン接種の状況、抱えている課題、現状の報告等をお願いします。 <p>【鶴見区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区は、9月上旬までは一日あたり100人を超える新規陽性者が発生していたが、今週は一日あたりで1桁であった。これに応じて区役所内の応援体制を縮小した。 ・一方で長引くコロナ禍のため生活困窮の相談がコロナ禍前の5倍と増えている。生活保護の申請も1割増えている。市税、保険料の支払い猶予、減免等様々な相談が1年間で3000件を超えたため、区役所全体で上記に対応する業務が発生している。 <p>【南区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先週1週間の新規感染者は70人で、1か月前と比較すると6分の1程度に減少している。福祉保健センターの業務も8月は困難を極めたが、現在は比較的円滑に行えている。 ・感染者が減ってきて、商店街には家族連れが増えてきたが飲食店は依然として厳しく、テイクアウト等の工夫をして営業している。緊急事態宣言の全面解除を切実に願っている。 ・最近、南区内のお店がグルメ番組で紹介されて、多くのお客様が訪れ、仕込みが間に合わないほどだったと聞いた。お客様側も通常営業の飲食店を利用したいという気持ちが高まっ

てきている。

【泉区長】

・泉区は8月下旬の最も多かった週では、新規感染者が260人であったが、先週は21人となり、1日の新規感染者数が0人の日もある。そのため応援体制は徐々に縮小してきている。一方で、年末頃来るであろうと言われていた第6波に備えて、応援体制の再構築を検討している。

・ワクチン接種の状況は順調であり、高齢者からの相談も少なくなっている。現在は10月から始まる若い世代向けのワクチン接種に関して会場運営の調整等対応している。

3 国及び県の方針 <本部運営調整チーム>

資料6に沿って説明【危機管理室長】

4 本市の対応

(1) 学校の対応 <教育委員会事務局>

資料7に沿って説明【教育長】

(2) 保育所等の方針 <こども青少年局>

資料8に沿って説明【こども青少年局長】

・(P.24) 感染者数と休園数は8/9週がピークであったが、現在は大幅に減少している。

(3) 市民利用施設、本市主催イベント等 <本部運営調整チーム>

資料9に沿って説明【危機管理室長】

【市長質問】

・P26のマスク飲食実施店と申請中のお店と酒類提供の時間が30分違うが、市内に「マスク飲食実施店(申請中)」の店舗がどれくらいあるのか。

【経済局長】

「マスク飲食実施店」が7,000件くらい「マスク飲食実施店(申請中)」は5,000件くらいである。

5 本部長指示

別紙のとおり

閉 会

資 料
・
特記事項

1 資 料

《市内の状況》

資料1 感染発生等の状況【健康福祉局】

資料2 医療提供体制の状況【医療局】

資料3 市内経済の状況【経済局】

資料4 市内観光の状況【文化観光局】

《ワクチン接種の状況》

資料5 ワクチン接種の状況【新型コロナウイルスワクチン接種推進本部】

《国及び県の方針》

資料6 国及び県の方針【本部運営調整チーム】

《本市の対応》

資料7 学校の対応【教育委員会事務局】

資料8 保育所等の方針【こども青少年局】

資料9 市民利用施設等の方針【本部運営調整チーム】

2 特記事項

なし

本日、政府は、神奈川県への緊急事態宣言期間を、9月30日をもって終了することを決定しました。

延長を重ねて、2か月という長期にわたる宣言期間となりました。全面解除となるのは、実に4月以来ということになります。

このたびの決定を、多くの方が待っていたと思います。まずは、感染拡大防止にご協力いただいた市民の皆様、事業者の皆様、そして、大変厳しい医療提供体制の中、ご尽力いただいた医療従事者の皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の第5波では、デルタ株が猛威を振るい、横浜市でも7月下旬から感染が急拡大しました。8月下旬から9月初旬にかけて、重症・中等症等患者さん用の病床使用率も、一時、9割に迫る勢いでしたし、Y-CERTでの入院調整に時間を要するケースが多く発生しました。今回は、何とか持ちこたえることがぎりぎりできたと思いますが、まだ決して気を緩めることはできません。

インフルエンザが流行する季節も、これからやって来ます。ワクチンを2回接種した方であっても感染する、ブレイクスルー感染の可能性もあります。第6波が来る可能性もあり、その山を、少しでも低く抑えるためには、市民・事業者の皆様、医療従事者の皆様、国と県、横浜市が、それぞれの役割をしっかりと果たしていくことが大切だと考えます。

横浜市は、今後、年齢・ライフスタイルに合わせた接種体制の強化による「ワクチン接種の加速化」、「自宅療養者の支援の強化」、「病床の更なる確保」など、ワクチン接種、そして医療提供体制を拡充していきます。コロナに関するデータも、わかりやすくオープンにということで検討してまいりましたので、今後発信を行っていく予定です。

各本部長に指示します。

- 大きなリバウンドを何としても回避するという姿勢で、リーダーシップを一層発揮し、各所属に求められる役割をしっかりと果たしてください。
- 勤務時間内外を問わず、基本的な感染症対策を行い、感染リスクが高い行動は避けるよう、引き続き、職員一人ひとりに周知を徹底してください。

市民の皆様をお願いいたします。

- 外出は、混雑している場所や時間を避け、できる限り少人数で行動してください。21時以降は、外出の自粛をお願いします。
- これから秋の行楽シーズンを迎えます。感染者数の急激なリバウンドを避けるためにも、帰省や旅行、出張など県をまたいで移動する際は、特に感染防止策の徹底をお願いいたします。

事業者の皆様にもお願いいたします。

- 10月1日から24日までの間、「マスク飲食実施店」では、20時までのアルコール提供、21時までの時短営業にご協力をお願いいたします。それ以外の飲食店等では、原則として、アルコール提供の終日停止、20時までの時短営業をお願いいたします。
- テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組にご協力をお願いいたします。

5か月を超える時短営業、アルコール提供の停止で、飲食店をはじめとする事業者の皆様は大変厳しい状況になっているかと存じます。横浜市は、制度融資による資金繰り支援をはじめ、コロナ禍で新たな事業を展開するための設備投資への支援など、これまでに延べ8万2千を超える事業者の皆様を御支援してきました。

「市民の皆様の命と暮らしを守りながら、横浜経済を回復する」、この両立を目指して、今後も、国や県、医療機関の皆様と連携して、コロナ対策を進めてまいります。